

6月16日に中国本土初の上海ディズニールランド

がオープンした。世界6都市目、ディズニーパークとしては12番目の開園となった上海ディズニールランドは、開園前から世界中で注目を集めていた。

今年3月28日に販売が開始されたチケットは、初日分が即売り切れ、キヤスト募集には応募者が連日長蛇の列をつくるなど、日本でも多く話題となった。それほど世界で最も新しい「夢と魔法の

国」は期待されていたのだ。

しかし、5月7日から行われた試験営業では、ごみのポイ捨てや落書きなど、さまざまな問題が発生した。中でも入園者

のマナーの悪さは常軌を逸するものだった。この試験営業は都市部に住む関係者を対象に行われたものだったが、より多くの人により多くの地域か

ら訪れる本格営業に向けての不安を増大させた。

残念なことに、開園後、日本のメディアが報道したのは、オープンされたばかりの上海ディズニールランドの惨状や、中国人

のマナーの悪さばかりだ。実際にマナーを守れない入園者が後を絶たないのだろうが、これだけマイナスの情報ばかりを与えられて、どのように

論説

客観的な視点を持つ

したら私たちはそれらの良さや本質を知ることができるのだろうか。マイナス方向の情報が目立つのは上海ディズニールランドだけではない。政治と金、不倫など、多分野にわたり、日々暗いニュースがそこら中にある。

物事の本質や良さは目の先の情報に捕われていると見つけられない。より広い視野を持ち、自らの視点でその情報の真偽や善悪を見極めて、判断するべきだ。